

蔵増北青壮年会だより  
発行 第40号  
平成15年12月20日

# そうねん



発行人会長 奥山正男  
編集委員長 秋保 栄  
編 集 機関紙編集委員会

【特集記事 第40号発行記念座談会】



date 平成15年10月19日 月山 姥ヶ岳コースにて

## こな坂 どんな坂 晩秋の 月山路を歩く

野山を歩こう会  
2nd トレッキング

月山

晩秋の晴朗な眺望を期待しつつ、姥沢小屋から登り始める。すぐに森林限界を超え、草原の木道を一步一步登りつめる。次第に別世界の域に…。

十二時に山頂に着く。

山頂は寒風と雪水の世界。

曇り時々晴れ。視界が広がり、かすかに雲が流れ行き、下界の秋の日差しが見通せる。

それでも振り返れば山頂は雲の中。古来から月山は異境の地、霊峰と云われるのを実感。

下山後は疲れを癒しに温泉入浴(水沢温泉)。今年の冬をいち早く体験した「歩こう会」でした。

(野山を歩こう会 佐藤春彦)

# 接着剤

## 40号発行記念座談会

### 【出席者】

歴代編集委員長	現編集委員一同
初代 森谷定雄 S61	創刊号～
二代目 桜井和男 H1	11号～
三代目 土屋 強 H4	22号～
四代目 奥山正男 H12	33号～
(司会進行) 現編集委員長	
秋保 栄 H15	39号～
(速記・まとめ) 森山美典	一敬称略

地域の皆様から親しまれている広報紙「そうねん」は、昭和六十一年五月、創刊号を発行して以来十八年、今回記念すべき第四十号を発行することができました。これまで紙面づくりにご協力をいただいた皆さま方に厚くお礼を申し上げます。

この二つの節目として、歴代編集委員長にお集まりいただき、現編集委員も交え、「広報紙づくりを通じた青壮年會活動」について、さっくばらんに語っていただきました。

【司会】今日はお忙しい中、歴代編集委員長、現職編集委員の皆さん全員のご出席をいただき、誠にありがとうございます。

まず、現会長、四代目編集委員長の奥山正男さんから挨拶をお願いします。

【奥山】いま会長をやっている関係で市連合会の会合

に出ますけど、こういう広報紙を継続して出しているのは北青壮年会だけで、これも今までの編集委員長や会員の協力のお陰でここまで来たのだと思います。

【司会】歴代の編集委員長さんに当時は振り返ってのお話を伺いたいと思います。

**スタート時は三名**

【森谷】当時は桜井さんと秋保さんの三名でスタートしたんです。楽しかったね、



(初代委員長) 森谷定雄さん

大変なんて思わなかったな。ソフトボール大会のスコアまで記事にしたり、とにかく楽しかった。最初は珍しがってね、地域の人たちはたまげていたな。

【桜井】最初ね、この部屋に入ってこんなに沢山の編集委員がいるのにびっくりしてしまつてね、(笑)、みんなが協力しあっているというところは素晴らしいことですね。最初は年四回だったかな、各行事に何にでも顔を出してましたね。創刊号に載せた写真は森山



### 号外発行も

【桜井】強かったですよ。市連合大会から勝ち上がり、県民スポーツ東南村山大会で初優勝したとき、森谷編集長から次の発行まで待つていられないって、号外を発行したこともありました。

【森谷】オレ勝負事が好きでよ笑、勝つたとなれば書いてあげたくてよ、みんなにすぐ伝えたかったんだ。

【土屋博明】号外っていうと印刷屋さんに頼んだんですか？

### ほとんど手作り

【司会】いや、経費を安くするため自分たちで版下作つて、印刷だけをお願いします



(二代委員長) 桜井和男さん

# そうねんは 心の交流



△ 会員みんなの力でここまでできました。そしてこれからも...

ました。写真も結構お金がかかるんで自分たちで白黒

## 継続への危機感

【森谷】編集もクラブ扱いにしたらどうかと執行部から言われたことがあったが、それは違うべ、と返したこともありました。

【桜井】出して間もないころ、やっぱりこれがつぱりこれが、どこまで続くんだべか、という心配がありましたね。写真も増え、ワープロ仕上げとなつて、だんだん本格的な紙面になつて、その後続けられる

## 新たなスタート

んだかや、という役員もいて危機感ありましたね。誰が携わつても続けられるものを、という課題をいつも考えていました。



四代委員長 奥山正男さん

【奥山】オレが三役に入る前、二年足踏みの時期があつて、山崎秀行さんが新会長に就いたときに、会報を復活して出すのか、出さないのか議論になったんだつて。結果として年二回発行することに決まった。出すからには一部に負担のからない組織体制を、というので、秋保さんと森山さんと東海林さんが、ピラミッド型の体系を作つてくれた。それで常任委員、各区選出委員、部選出委員からなる新たな編集委員会が発足したんですよ。

## みんなが紙面に

【司会】今年五月、市報に北青壮年会の記事が出て、反響が大きかったようです。編集委員の職場で、お前だけな、役員

語り継がれる「中川魚屋」での一件ですよ。【笑】本来ならば、新役員の懇親会の場だったんですけど、お膳を目の前にして延々と一時間以上、真剣な議論が続いたんですよ。当時副会長の鈴木慶一郎さんが一人ひとりから意見を聞き出し、徹底して話し合ったからこそ、今こういうふうにつながっているんだなと思います。前は数少ない編集委員がそれぞれ現場に行つて取材をするということだったけど、今はみんなが分担して取材をしてきている。続けやすい環境になつてきたんだなと思つています。



編集委員（平成15年度）

委員長：秋保 栄 ・常任委員 森山美典、今田仁志、東海林 隆  
部選出委員：ソフト部 土屋公男、将棋部 森山、麻雀部 山崎稔  
区選出委員：1区 後藤賢次、2区 土屋忠幸、3区 土屋博明  
書道部 佐藤俊彦、写真部 大木富雄、野山を歩こう会 佐藤春彦

あつたけど、隣組の親睦団体や婦人会とか、若妻会とか、そういうものを広げていっても良いのでは。

【土屋強】私が編集長のときには「地域に汗する」というシリーズものを連載しました。老人クラブとか、衛生組合連合会とか、公園管理人とか、地道なボランティアを紹介する意味では大変よかったですとは思っています。



(三代委員長) 土屋強さん

【桜井】今の「そうねん」には色んなアイデアがあつて良いことだなあと感心しています。こういうこともできるんだなあ、と見せてもらっています。あと、こうして見ると「そうねん」を残すことによって地域の記録も残る、そういう資料的な意味合いっていうのも

非常に強いんじゃないのかなと思っています。

### 部発足のきっかけにも

【司会】書道部や写真部ができたのも機関紙発行の一年後、昭和六十二年かな、広報に関連して実施したアンケートがきっかけです。野山を歩こう会も今年、発足したんだけど、呼びかけや活動を会報に書き、

参加している人の笑顔が見えてくるとまさつかなあという人も出てくるし、楽しいことやっているなあって思う人もいるだろうし、広報っていうのはやっぱりそういうふうな効果っていうか、引き付けるものがあるんだなあ、価値があるんだなあ、と思っている。今田さんは千布公民館にいたこともありますよね。千布の地域活動もすごく盛んですよね。【今田仁志】四谷小学校との交流は本当に長い伝統があり、地域づくり委員会の活動とか、すごく活発です。

## おらほうの地域づくり

レポート No.28 歳増北青壮年会

■歳増北青壮年会 昭和54年設立。活動はゴミゼロ運動や公園の草刈り、公民館前の除雪作業奉仕などをはじめ、部活動が盛ん。また、広報紙の発行を通して活発な交流が展開されている。5月1日現在の会員数は72人。



編集委員のみなさん「手作り広報紙「そうねん」は私達の自慢です」

部活動と  
会報発行で  
仲間づくり

■元気の源は部活動  
歳増北青壮年会では、何といても部活動が盛んで、ソフトボール部、将棋部、麻雀部、書道部、写真部などの、中でもソフトボール部と将棋部は、市の大会で何度も優勝を飾るなど、逞しい活躍を見せています。書道部は発足後十八年たちます。合言葉は「継続は力なり。五十歳前後の部員も、一年生のような

みずみずしい気持ちで筆を走らせています。写真部は、春と秋の移動撮影会や春の一日旅行など、将棋部と麻雀部は、北市民全体を対象にした新春大会を開催するなど、交流を深めています。「会報」に生活生業案内、手作り広報紙「そねん」を発行し、全戸配布しています。昭和六十二年創刊で、現在二十九号を編集中です。発行のきっかけは、青壮年会のボランティア活動が広く知ら

れるようになったのは、より充実した活動が届けられるのではとの思いによるものでした。現在、歳増土入の編集委員が役割分担をして、年一回の定期発行を続けています。会員の知られざる一面を紹介する「この人のコーナー」や、書道、写真の作例紹介、各種行事のスケジュールなど、各人が力を入れています。これからも、会員、地区民に親しまれる広報紙づくりを目指していきたいと思っています。

市報「てんどう」に北青壮年会の活動が掲載されました(H15.5.1号)

### 「そうねん」の目録

- 北青壮年会のあゆみ
- △創刊号 (S61.5.21 発行)
- ・ 森山栄会長、善頭のおごころ
- △第3号
- ・ アンケート「多くの声で壮年会活動の充実を」実施。書道、写真、麻雀、謡曲部の発足「つながる」(S62.1)
- △第4号
- ・ 書道部、写真部、麻雀部発足 (S62.2.22)
- △番外
- ・ 東南村山ソフト初優勝 (S62.8.23)
- △第7号
- ・ 市連青壮年会「地域への実践活動発表会」で森山栄会長講演 (S.63.1.28)
- △第8号
- ・ 総会「賞、書道作品展」(S63.3.6)
- △第10号
- ・ 東南村山ソフト二連覇 (S63.8.21)
- ・ 地区駅伝三連覇 (S63.11.3)
- ・ 地区卓球二連覇(S63.11.27)
- △第11号
- ・ 10周年記念座談会「活力ある壮年会をめざして」を開催 (H15.1)
- △第12号
- ・ 市ソフト三連覇水久杯獲得 (H17.10)
- ・ 謡曲部結成 (H17.22)
- △第16号
- ・ 将棋部、酒田市の「土岐田勝弘道場」訪問 (H25.22)
- △第21号
- ・ 地区ソフト大会の年振り優勝 (H3.9.1)
- ・ 謡曲部、地区文化祭で第1回「演芸大賞」(H3.11.3)
- △第23号
- ・ へにはな国体「炬火リレー採火式典」で謡曲部「笠踊り」を熱演 (H4.8.2)
- ・ ソフト部「へにはな国体」モンスターシメント大会」出場 (H4.9.7~8)
- △第24号
- ・ 第一回ソフト大会開催 (H4.12.13)
- ・ 特集記事「歳増「下水道がやってくれた」
- △第25号
- ・ 総会「会員年齢上限」の0歳への5まで(定年制)」を廃止 (H5.2.21)



### 今後の在り方は：

【司会】ベテランの森山さん、速記の手を休めてひと言どうぞ。(笑)

【森山美典】これまでの話を聞いて、みんな「そうねんだより」を楽しみにしているのかなあと、あらためて思っております。

ただ、実際、編集委員という立場から言いますと、確かに大変といえれば大変ですけれどもね、三回ぐらいの編集会議で出来上がりませんで、前から見れば良いんですけど、ただ、後々、現在のメンバーが変わった後、編集委員の在り方って



言うか、続くかどうかというのが心配です。これからも継続の方法を検討していきましよう。

### IT世代、若い人の力を活かして

【司会】やはり、その次の話となるんだけど、前から見れば今は一人にかかる負担がぐっと少なくなってきたんですね。みんな分担して書いてもらっているんで、あとは、そいつをまとめて活字にする技術的なものなんですよ。ワープロとか、だからその辺、文章を書く能力はみんな実

績が十分なんだから、それを活字に紙面にするテクニツク的なものなっただなね。若い人はパソコン得意なIT世代の人がどんどんいるもんだから、その技術を地域活動に向けていただき、育っていっただけ

ばなあと思います。

土屋博明さんは前に子ども会育成会の文集を作ったことがありますよ、だから北区は人材豊富なんだなと。(笑)

【土屋博明】あれも見よう見まねでね。

### これからも期待

【森谷】機関紙づくりは、ぜひ続けてほしいですね。手伝いすることがあれば、いつでも声を掛けてほしい。

【桜井】こういうふうにご皆さんで続けていることに頭が下がる思いです。たかが、「たより」に思われるかも知れませんが、色んな人が登場して、昔のものをみると歴史も分かるということ、できれば活躍した人で、できれば活躍した人で、できなく、こう、陰で会を支えているような人も、登場できる機会があればなと思います。これも機

関紙を青壮年会発展のために大いに活用していただきたいなと思います。

【土屋強】大変だと思えますけど、これからも長く続

けていただくようお願いいたします。それから、取材の際の写真を結構持っていますので、ほしい方には差しあげますのでどうぞ。

【奥山】今日は歴代の先輩たちのお話を聞くことができ、みんなでの意思を継いでほしいなと思います。

【司会】長時間ありがとうございました。

これまで色々お話をいただいたように大変なことばかりではなくて、これを楽しみに代えられるような地域の人からも親しまれるようなものにしていきたいなと思います。

五十号というあと五年ぐらいかかるかなと思えますけど、その時、また引き続き発行されていることを願っています、その際にはまた歴代の編集委員長さんからお褒めの言葉をいただけるような活動をしていきたいな、と期待を込めまして、ここで座談会を閉会いたします。今日は本当にありがとうございました。

(まとめ 森山 美典)

### 「そうねん」ができるまで

発行回数 年2回 7月20日 12月20日

編集委員会 各号3回

- 1回目 企画 (どんなことやろうか) 打ち合わせ
- 2回目 役割分担 (取材・写真・パソコンで版下作り)
- 3回目 校正 (まちがい探し)

◇◇ ここまで編集委員会で作成 ◇◇

印刷を外注 230部 → ※納品になったら打ち上げ会  
配布先 北区内全戸・各地区公民館・図書館等

▽第29号	・特集記事「拓かれた高速時代 東北中央自動車道説明会開催」(H6.10)
▽第31号	・特集記事「北区の2007年の推進会議主催「座談会：美しいまち北増をめぐって」を取材掲載 (H7.12.16)
▽第32号	・市連同将棋「一度目の優勝 (H10.2.22)
▽第33号	・北壮年会設立20周年記念式典、祝賀会開催 天童ホテルにて (H12.2.13)
・編集委員会総務置業網」策定(H12.5.19)	
▽第35号	・「感増北青壮年会」に改称 (H13.2.25)
・第一回新春麻雀大会開催 (H13.1.14)	
・21世紀を祝つ会」開催 (H13.1.1)	
▽第38号	・高速道路開通イベント (H14.8.25)
▽第39号	・市連同将棋「二度目の優勝 (H15.2.23)
・野山を歩」会策定 (H15.5.9)	

※これからはつきまぢ

# 心年男

## さる年 新年の夢



### 健康が第一の幸せ

北一区 森谷 忠男  
(昭和31・2生まれ)

来年、四十八回目の誕生日を迎えます。これで四回目の年男。長いようで短かった四十八年。偶然なことに私の娘も来年十二歳の誕生日を迎え、一緒に年男、年女を迎えます。私は風邪

以外の病気にはほとんどなかったことがないほど、丈夫な身体を持ち主であり、来年もまた家族みんな毎日健康で送れることが第一の幸せと思っております。当たり前のことですが、来年も良い年になりますように願います。



### 堀端に井戸端を

北一区 佐藤 春彦  
(昭和31・2生まれ)

ずいぶん昔の子どもの頃の今の堀端公園のところに井戸があった。夕方、ソウメンを洗いに行ったり、ふいでご飯を洗って食べたり、井戸からの帰り道、空を見上げると星が鮮やかだった。井戸のまわりはにぎやかで、そこには隣近所の交流があった。私た

\*\*\*\*\*

ちは、復活した井戸を囲み日々、季節ごとに集う。そして井戸から流れ出る水はホタルを戻す。そんな井戸端を戻すのが夢です。

\*\*\*\*\*  
ストップザBMI

北二区 森山 美典  
(昭和31・2生まれ)

22・23・24と順調に右肩上がり？。実は体格指数(BMI)の値で、ここ数年の間に徐々に増えています。

これは常日頃の運動不足がたたり体脂肪が増え続けている証拠です。これを何とか打破すべく、区切りの良い「年男」の一年間で標準体重に戻すことを重点目標にしたいと思えます。実践その一、有酸素運動、その二、食事制限、



その三、筋力トレーニング、継続あるのみ、がんばります。

\*\*\*\*\*  
平成十六年はガンバロー

北二区 佐藤 俊彦  
(昭和31・3生まれ)



平成十五年も残り少なくなりました。

今年の仕事が忙しく写真部、野山を歩こう会など各部の活動に参加できず、大変残念な年でした。トレックキングシューズまで買って準備したのに。

来年は「さる年」年男です。今年できなかった各部の活動にぜひ参加したいと思えます。

「人生我以外皆師也」を motto に、人の意見に耳を貸し、謙虚な気持ちで受け

止め、人生の糧となるよう努力する一年でありたい。\*\*\*\*\*

### ひた向きな姿

北二区 山崎 昭夫  
(昭和31・5生まれ)

最近、妙に体力の衰えを感じ、特に思うのだが、若い人はいいななど。では若さとは何だろう。毎年行われる高校野球、あの選手たちの姿がとて凛々しく見える。一心にボールを追う姿が感動を呼ぶのだろう。そのひた向きな姿、情熱あふれる行動こそ若さではないかと思う。

明るいニュースが少なく混沌とした世の中だからこそ、年男の節目に、改めて何事にも一心で、ひた向きに、情熱をかたむける気持ちをもち続けたい。



無理を  
せず、  
じゅんばう

北二区  
土屋 忠幸  
(昭和31・7生まれ)

今年七月、同窓会の案内  
状が届いた。自分の年が五  
十代目前であることに改め  
て考えさせられてしまった。  
後も振り返らず、前に進む  
ことが精一杯で過ごして来  
たような気がする。

思えば、趣味の溪流釣り  
で毎々転倒してしまう自分  
に体力の衰えを感じている  
今日この頃。これを機会に、  
無理をせず、一歩下がって  
じっくりと、すでに人生の  
半分を折り返しているんだ  
から、そんなに焦らなくて  
もいいじゃないか。

\*\*\*\*\*



いつまでも  
気持ちだけは・・・

北二区  
土屋 博明  
(昭和31・7生まれ)

四十も過ぎますと身の程  
をわきまえず、気持ちだけ  
は若く持とうとして、つい  
無理をして怪我をしがちで  
すが、特にスポーツにおい  
ては、私自身、年下の者に



負けたりすると、悔しさが  
込み上げてきてしまいます  
今年で四十八歳になるなど  
考えられない気持ちですが、  
わずかな負けん気を持ち、  
年齢を越して老け込まな  
いように心掛けたいも  
のです。「年を考  
えろよ」と声を  
かけられ  
ようと  
も

若者(夢)でありたい。

\*\*\*\*\*  
四度目の  
サル年を迎えて

北二区 土屋 忠明  
(昭和31・11生まれ)

自分は年を取らないだろ  
うと思っていました。四  
度目のサル年を迎えるとな  
ると、父も母も老い、両親  
や地域の方々に迷惑をかけ  
てきた自分が見えてくるよ  
うになりました。  
五度目を迎えるまでは、  
親孝行と、今より積極的な

地域活動への参加を目標に  
努力していきたいと思いま  
す。



\*\*\*\*\*  
禁煙  
北二区 阿部 正和  
(昭和43・1生まれ)

「あなたの夢は何です  
か？」と尋ねられて、私の  
夢は、煙草をやめること  
です。と答えると変に思われ

☆昭和31年

- できごと 日本の国連加盟承認、猪谷千春冬季五輪で銀メダル、水俣病発生、売却防止法公布、合成洗剤登場、最後のソ連引き揚げ、三種の神器(電気掃除機、電気洗濯機、電気冷蔵庫)
- 流行 鉄人28号、鉄腕アトム、プロレスごっこ、太陽の季節
- 流行歌 若いおまわりさん、愛ちゃんは太郎の嫁に、ケセラセラ、ここに幸あり
- 流行語 太陽族、もはや戦後ではない
- 映画 ビルマの豎琴

☆昭和43年

- できごと メキシコ五輪で日本サッカー銅メダル、三億円強奪事件、全国116の大学で学園紛争、金婚老事件、イタイイタイ病認定、札幌医大で日本初の心臓移植手術、霞ヶ関ビル完成
- 流行 ミニスカート定着、タートルネック
- 流行語 ハレンチ、とめてくれるな!おっかさん
- 流行歌 星影のワルツ、帰って来たヨッパライ、受験生ブルース、天使の誘惑、神様お願い
- 映画 黒部の太陽、緋牡丹博徒



るかもしれないませんが、やめたいんですよ、煙草を。  
知り合いの人で、以前吸っていた、今はやめましたと聞くと、なんと意志の強い人だろうと、尊敬のまなざしで、見てしまいます。  
最近では、喫煙できるところが限られてきていますし、来年こそは、来年こそはと思いつながら、来年こそはやめたいですね。



奥山会長、いいんですか～ ナンパされてますよオ・



腰をクイツ、そうよクイツ、いい感じよ (盆踊り練習)

# 笑顔いっぱい 03'

## あの 場面

- 北区夏まつり・盆踊り大会 (H15. 8. 10)
- 地区レクリエーション大会 (H15. 8. 31)
- 地区文化祭 (H15. 11. 1~2) 駅伝大会 (H15. 11. 9)
- 北青壮年会ボウリング大会 (H15. 11. 30)
- 市連合ソフト (H15. 7. 6)



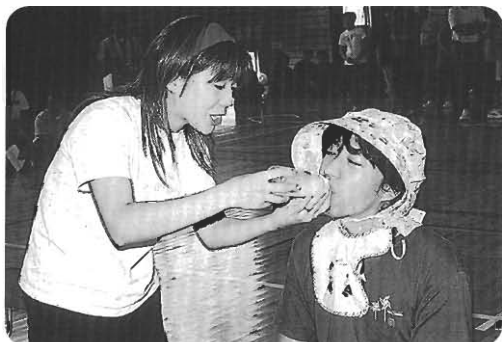
ええらっしゃい、おまけだよ～また買ってね (夏祭り)



粘りの投球はさすがチームリーダー (市連合ソフト)



雨二モ負ケズ、元気にイチ、ニイ・(地区レク)



ちゅば ちゅば 夢ごち・・・(地区レク)



雨の公園での特訓をいかすゾ～ (地区レク)



壇上の応援団からも大歓声 狭さゆえ、伝わる熱気 (地区レク)



マススターズ?とんでもないッス  
群を抜く速さの書道部長



岩月成人さん、娘和ちゃん  
タスキをつないでゴールイン



「見事準優勝  
北の走り」は伝統です



今年は裏打ち仕上げも自分でやりました(地区文化祭)

# いきいき あの 感動

**第17回地区分館対抗駅伝大会  
準優勝** 平成15年11月9日  
**タスキをつないだランナー**

- |         |         |
|---------|---------|
| 1区 早坂和彦 | 2区 黒沼隆人 |
| 3区 土屋博明 | 4区 鈴木健司 |
| 5区 岩月 和 | 6区 土屋佳澄 |
| 7区 土屋浩二 | 8区 野口勇樹 |
| 9区 岩月成人 | (敬称略)   |



ウワオオ～ 野生の本能炸裂だ～



グワッキン 頼むから抜ける～



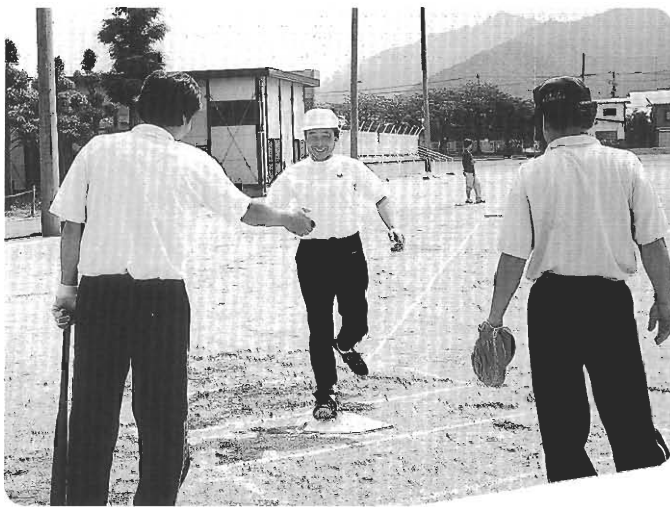
写真部も、のんびりカメラを抱えて  
蔵王トレッキング (H15. 7. 14)



オジさんは山に柴刈りに? めざすは向こう  
の山の先、雁戸山(歩こう会有志 H15. 11. 7)



お～とっ、セルフタイマー間に合わず・  
(野山を歩こう会 月山 H15. 10. 19)



△「強い北」逆転に次ぐ逆転、勝負強さ復活です。

初戦 対駅西青壮年会 スコア

チーム	1	2	3	4	5	計
駅西	0	3	2	1	3	9
北	2	2	6	0		10

第二十九回市連合青壮年会ソフトボール大会が七

# 逆転に次ぐ逆転 1点差に沸く 市連合ソフトボール大会

月六日(日)、老野森多目的広場Gで開催されました。今年に参加チームも減り、十八チーム、二ブロックトーナメント戦で熱い戦いが繰り広げられた。

我がチームは一回戦 駅西青壮年会との対戦となり、何年か前の苦い思い出があるため、是非とも負けられない試合となった。

ランナーを一人ずつ貯めコソコソ点を取る作戦で臨み、筋書き通り、一回裏に山崎諭、二回裏に土屋公男のホームラン、三回裏に鈴木賢司

のセン  
ターオ  
ーバ

一のヒットなどで大量点をもぎとった。相手もさすがで二度にわたる逆転劇にあったが、負けじとこちらも逆転に次ぐ逆転で跳ね返し、辛くも1点差、10対9で勝利を勝ち取った。

二回戦の相手は寄的青壮年会。これも押せ押せの展開で7対1とリードしていたが、最終回7対7の同点に追いつかれゲームセット。やはり勝負のつまりは時の運。ジャンケンで惜しくも敗れ三回戦に進めなかった。

しかし、一回戦、二回戦とも強豪北青壮年会ソフトボールチームの復活をアピールする好ゲームだった。

今年、新会員の三人も我がソフトボール部に入部し、チームも若返り、和も広がったと思います。試合後、公民館で恒例の反省会を行い、来年こそは優勝をと誓い合い、たいへん盛り上がりました。晴天の中、楽しい一日が過ぎました。みなさんも「いい汗」「いい酒」を楽しみませんか。

(ソフト部 土屋公男)



ほろ酔い気分で、頭の疲れを癒す。たまらぬ。

## 将棋と温泉と美味しい蕎麦 将棋部 一泊練成今年も大井沢

七月十二日、十三日に将棋部恒例の一泊練成を行いました。今年で十九回目を数え、伝統行事になっております。

昨年は大雪の中を蔵王へ、一昨年は瀬見温泉に行ってきましたが、今年三年振りに古巣の大井沢の民宿に行きました。

今回の参加者は七名と多く、大変盛り上がった一泊練成になりました。初日は、四月にオープン



温泉入って、のんびり散策、心の洗濯です。

した大井沢温泉「湯つたり館」に入浴後、将棋の月例会を消化し、夕食には抱負な山菜をたっぷり堪能してきました。

翌日は、大江町の「神通峡遊歩道」を散策後、柳川温泉で露天風呂に入って汗を流し、柳川そばを食して、自然を満喫して帰ってきました。(将棋部 森山美典)



△胸のすくような「お釜」を眼下にして

今回は七月十三日、十四日、蔵王方面への撮影会に出かけました。  
 宿泊先の竜山荘に到着後、支配人から「鳴の谷地沼」を紹介され、カメラを手に周遊。ちよどと咲き始めたハナシヨウブや水面に映える木々の緑の鮮やかさには目をうばわれるほどでした。宵には注ぎ交わす美酒で胸ときめき、夢心地に。  
 翌朝刈田駐車場まで格安タクシーで上り、極めて稀胸のすくような快晴360

快晴の蔵王路を行く  
 写真部ふあととれつきんぐ



△騒がしい下界を離れ、癒しの空間に

度パノラマでお釜を眺めたあと、熊野岳(1840m)山頂で昼食。中高年者の多さに驚きながら、コマクサやハクサンチドリなどの高山植物、山々の風景を思い思いに撮影しました。  
 足膝にややこたえたものの、高層湿原のいろは沼と観松平を経由。樹木高原駅からはロープウェイで下山。梅雨の間の好天に恵まれ思い出に残る撮影会でした。(14日の歩数19,600歩)  
 (写真部 土屋光香)



お見事、大会初の夫婦入賞、武志さん・文江さん

第12回ボウリング大会結果

<平成15年11月30日 空港ボウル>

- 優勝 東海林 隆さん 315点
- 二位 佐藤 武志さん 287点
- 三位 佐藤 文江さん 278点

おめでと〜、ナイスカップル。地区卓球大会(S62)で優勝した「夫婦スマッシュ」を思い出しました。

わたしの作品

秋保竹嶺(栄)書



「行雲流水」  
 空行く雲と流れる水  
 ※何のわだかまりもなく、ありのままに、よどみ無く流れ行く

ちよつと風変わりの横書だが、毎年の地区文化祭に合わせ、仏語や格言、四季の句などから気に入った名句を選び、作品化している。展示会が終わればわが家の鴨居の上に一年間座る。進歩もなく自慢にもならないが、書道部への在籍は発足(昭和六十二年)当時から。私は職業柄、ゴシック体のようなクセ字のため、中々うまく書けない。でも、心から師と仰ぐ

岩月竹陽(啓次郎)先生から辛抱強く指導していただき、名前や、のし袋程度は何とか書けるようになった。先生は、今回の作品選定にあたっては、大先生である菅野若石(東邦書道会主催)先生のもとへ走り、手本を用意してくれた。光栄極まりない。分けへだてなく、無心で、一所懸命に指導してくれる先生です。

話は全く反れるが、おしんの母、おふじさんの言葉が胸にあたる。  
 「人の親切ありがたいと思つたら、人さまに親切にして返さんなねんだ。」  
 私もいつかは恩返しのできる人になりたい。

☆第29回詰め将棋

将棋部があなたに挑戦

持ち駒 角金桂

7	6	5	4	3	2	1	
						桂	一
						王	二
						銀	三
						桂	四
							五
							六
							七

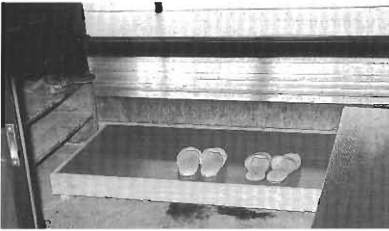
ヒント  
 2-1のと金はいつかはとられます。五分で四級。七手詰め。

## 近所のニュース 北区初の自主防災訓練



備えあれば憂いなし。蔵増北区自主防災会が本年7月5日に設立され11月30日に初の防災訓練が行われました。万一に備え、日頃から意識を持つことが大切なようです。

## ちょっとバリアフリーに 北公民館玄関に上がり台設置



北公民館玄関の敷居の段差が大きく、お年寄りには不便をかけていたため、鈴木清雄公民館長が市選挙管理委員会にお願ひし、上がり台を作っていただきました。(H15.9)

表紙題字 書道部長 土屋寛竹(博明)書

- ▲3 一金 まで七手詰め
- ▲3 三桂 △同 歩
- ▲2 三角 △2 一玉
- ▲2 四桂跳 △同 香
- ☆第29回詰め将棋の回答
- \*\*\*\*\*

▽今年から公民館の主事も兼務になりました。事業が重なりちよつと大変です。ところで、十一月九日に

## がんばれモンテ



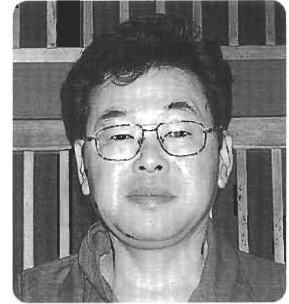
(麻雀部委員 山崎 稔)

編集委員

委員長：秋保栄・常任委員：森山美典、今田仁志、東海林隆  
部選出委員：ソフト部 土屋公男、将棋部 森山、麻雀部 山崎稔、  
区選出委員：1区 後藤賢次、2区 土屋忠幸、3区 土屋博明  
書道部 佐藤俊彦、写真部 大木富雄、野山を歩こう会 佐藤春彦

## この人

北 三  
渡辺 元康 さん



十一月のある休日の午後、玄關先で洋蘭の手入れをしている元康さんに少々手を休めていただき、お話を伺いました。  
元康さんは昭和二十七年生まれ五十一歳。出身地が

愛知県瀬戸市というところで驚きました。大学卒業後山形市成沢にある「山形いすゞ自動車株式会社」に就職。今年の四月から総務課勤務になり、仕事は主に、社員の定期検診や車検に関する業務をしているそうです。  
また、会社の広報紙「社内報(年二回発行)」の担当をすることになったそうので、「あなたたち編集委員のご苦勞ぶりがよくわかりま

す。」と話してくれました。「趣味は何もないんですよ」と謙遜して話していましたが、観葉植物に親しんでいるようでした。  
入社して三年後、同じ会社の人から奥さんの千鶴子さんを紹介されて結婚。それから渡辺家に入り、二十三年になるそうです。家族構成は養父母・奥さん・大学生の長男・中学生の長女の六人家族。  
今後、本紙「そうねん」について、見てもらえる広報紙、方向性などへのアドバイスをいただけたらと思ひながら渡辺家を後にしました。(聞き手 土屋博明)

## これから行事

- ◎1月4日(日) 5時〜 北青壮年会「新年を祝う会」(北公民館)
- ◎1月18日(日) 8時30〜 北区新春麻雀大会 (北公民館)
- ◎1月25日(日) 蔵増地区青壮年会ボウリング大会
- ◎2月11日(水) 祝日
- ◎2月22日(日) 北区新春将棋大会
- 市連合青壮年会将棋大会 同ボウリング大会
- 北青壮年会平成十三年度総会

## あとがき

開催された地区駅伝大会は、塚野目に次いで準優勝となりました。  
特に青壮年会推薦の土屋博明さんの走りには驚かされました。四十七歳にしてあの走りは、もう少し自分も運動しなければならぬと考えさせられた一日でした。(ただし自転車で)

(一区委員 後藤賢次)

▽「プロジェクトX」に明けた年も、すっかり押し詰まってまいりました。忙しい中、青壮年会員に問う。貴殿のプロジェクトは、実行できましたか？  
私は来年がんばります。「そうねん号外」を発行させるバイタリティーを持つて、天童のアルカディアに近づくために、行動を共に起こしましょう。

(麻雀部委員 山崎 稔)

表紙写真 野山を歩こう会 秋保栄